

西高瀬交流

マレットゴルフ大会

十四回目となる高瀬地区と高瀬西地区交流の高瀬遺跡杯マレットゴルフ大会を、九月二十九日(日)高瀬遺跡公園内マレットゴルフコースで開催しました。

昨年は台風の影響で中止し今年も心配されましたが、何とか曇天の中、楽しむことができました。参加者は総勢六十名で、高瀬西からは二十五名の参加でした。



結果は、当月賞(九位)を受賞した中井邦夫さん(雨潜)が最高順位で、三十位に太西毅彦さん(安清)の三名

四十位に止境一泰さん(江田)の三名が賞を獲得しました。

両高瀬で交流しているものといえ、他に高瀬忠魂碑護持会と両高瀬グリーン会高瀬神社杯ゴルフコンペがあります。皆さん、来年のご参加をお待ちしています。

交通安全

ゲートボール大会

交通安全協会高瀬分会長 柳瀬政夫 九月二十三日、台風が能登沖を通るため、すばやく福野で第二十回の高瀬西地区交通安全ゲートボール大会を行いました。

開会式では、南砺警察署交通課長朝日奈様の交通事故の現況、高齢者の関係する事故、交差点での事故が多い等の話があり、安全確認の動作からゲームに入りました。

敵味方関係なしにアドバイスをしてゲームを楽しんでいただいたと思います。結果は、一位野原、二位三清西、三位森清でした。

秋も深まり暗くなるのが早くなっ

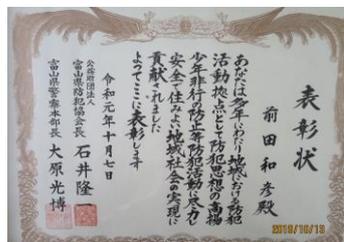


てきました。早めのライトの点灯、目立つ服装で相手に早く認識してもらおうように、交通安全故にあわないうようにしましょう。

優良防犯連絡所表彰

生活安全部会長 前田和彦

令和元年十月七日富山県教育文化会館において、知事および県議会議長参列の下、高瀬西地区として表彰を受けて参りました、優良防犯連絡所としての表彰で、とりもなおさず組織がしっかりと日々活躍活動しているから



それ住民の皆さんの防犯の意識が高く取り組み方もよろしい様です、とりわけ区長さん方のかかわり方がしっかりと地区の皆さんに接していらっしやることも評価されたものと思います

元より高瀬西地区においては警防団として従来から組織だったものがあり、遠く旧高瀬村には在郷軍人会なるものがあり自警団として村部村内をまわっていらしたと古きよき達と話していらっしやいます。

我が高瀬には自己防衛、己をまもり地区を守ると言つ伝統の精神が根づいているのだなあ、と思えました。

富山県知事、警察本部長、連名の表彰状を戴いてまいりました帰りのバスの中で、今後地区内において皆様

の事、特に子供達を見まもり考えていかなければ、既に鬼門に入られた人達の顔や高瀬西の将来の姿も想い頭のなかで交差してなんとなく心地の良い半日でした。

十月二十七日(日)午前九時〜
防災避難訓練
自助のため、皆さんのご参加をお願いします。

十一月二日(土)午後一時〜
三日(日)午前九時〜
文化祭
十一月三日(日)午後一時十五分〜
敬老会

編集後記

台風十五号、十九号と凄まじい勢いで東日本を駆け抜け、甚大な被害を各地に及ぼしました。幸いにも、我が高瀬西地区は、大豆等の収穫に多少の影響は出たものの、ほとんど被害がなく安堵しています。

しかし、忘れないうちに天災はやってきます。自助・共助・公助で、万全な備えを心がけましょう。防災避難訓練に是非とも、ご参加ください。



サツマイモとったぞー

ワイワイ学園

高瀬西

ふるさと広報

《第2号》

令和元年十月二十五日発行

高瀬西地域づくり協議会
南砺市森清三二四八番地
高瀬西交流センター内

住み続けたい高瀬西地区をめざして

協議会長 中村義章

今年最強の巨大台風19号は、過去に例のない記録的大雨が各地で堤防決壊を起こし大惨事となった。テレビは進路予報を数日前から放映し、事前の備えや注意喚起を呼び掛けていたにもかかわらず、深夜の通過は多数の犠牲者を出してしまった。

これまで比較的災害が少ない砺波平野に住む私たちも、河川の氾濫、春の井波風、冬の落雷などと常に自然災害に備える対策や身の守り方を再確認しておきたいものです。

さて、当協議会の四部会では、当初の活動計画に添って、お互い連携を取りながら事業を推進しております。

■八塚東交差点が通行止め規制

市道安清苗島線の拡幅歩道付き改良工事は、当地区念願の要望事項であり、今回はスーパー農道との交差点の拡幅工事です。来春まで通行規制が行われます。三清西と雨潜地内については、去る八月に市建設課より詳細設計が関係者に説明されました。

■高瀬西魂碑戦没者慰霊祭

去る八月十六日に三清東ふれあいセンターで開催。今年も両高瀬が協力して高瀬神社神職による神式での慰

霊祭で、雅楽演奏のなか戦没者ご遺族、来賓各位、役員関係者が、今ある平和と繁栄は、尊い犠牲の上にあることを忘れず、二度と戦争を起こさないことを誓い玉串を捧げました。

■来年七月には福光庁舎に統合

市庁舎統合に向け、税務課と市民生活課は年内に移転し年明けから福光庁舎一階で業務開始、その後は四月から六月にかけて、市民サービスを維持しつつ移転を完了し、七月から福光庁舎の運用がスタートする予定です。

福野行政センターは規模を縮小して残されますが、各種団体の事務は移管できるものから見直しがかかけられます。

■複合交流施設の整備要望

福野地域づくり連絡協議会では、このほど市長への要望を行いました。その中で、老朽化している産業文化会館と福野中部交流センターに放課後児童の学習スペース、高齢者が集える居場所、それに行政センター業務を組み込んだ複合交流施設の整備を要望しています。

福光庁舎への移転で空き家となる福野庁舎を、どう活用するかを含めて、早急に方向性を決める必要があると思われれます。

夜空に映える提灯

生涯学習部副部長 寺井克明

連日の猛暑の中、地区納涼祭が七月二十八日に、高瀬ふれあい体育館駐車場にて開催されました。例年は八月下旬でしたが、諸事情により一週間前倒しとなりました。



今年度からは、地区組織が新組織となり、「生涯学習部会」が担当することになりましたが、実質的には大きな変化はなく、例年通り実行委員会での委員・各種協力団体のご意見を踏まえ、開催へととなりました。

近年は、開会時間前から地区民の皆さんが会場に詰め掛け、開会前から賑

わいの中、オープニングは初音会の大正夢の演奏から始まりました。

夕闇が迫る頃、カラオケ同好会進行によるカラオケ大会には、若い有志方々の熱唱あり、老年の味のある歌声ありと多彩なカラオケ大会でした。

夜空に星が輝く時間での花火大会、大きな花火はないけれど、打ち上げ花火には子ども達の歓声が響き渡りました。やはり納涼祭には花火はなくてはならないものだと思えて感じました。

会場内では、女性部・JA青壮年部・活動推進委員の皆さんによる飲食コーナーが、早くから素麺やビールなどを準備し、多くの方が買い求め、PTAの皆さんによるゲームコーナーでは、子ども達が楽しんでいました。納涼祭では定番の盆踊りは、瀬々らぎの皆さんの先導のもと、会場いっぱいに広がった輪踊りとなり、全員参加となりました。

最後の大会では、賞品を射止めた方々の笑顔が印象的でした。

この納涼祭は、地区民相互の親睦や故郷を離れた方々の拠り所といった意味合いもあると感じており、多くの方々の協力があったからこそなし得るものであり、改めて地区民の皆さんに感謝を申し上げ、更によりよい納涼祭になるように今後も改善を図ってまいりますので、皆さんのご支援をお願い致します。

第三十六回

地区運動会

運動会実行委員長 中道秀樹

昨年まで秋の行事であった地区運動会を、今年は六月に行いました。



この開催時期の変更は、年間の行事数を減らし、その間隔を均等にしたいことによりです。生涯学習部会長の打ち出した妙案だと思えます。惜しくも減らされた行事は、バレーボールとピンポンですが、私自身、球技が下手なこともあり、楽



しむ方が限られると意見しました。しかし、まだ運動会とは別のスポーツイベントを年一回行つてゆきたいの事です。一年に一度とか、順繰りに組み込んでいけばどうでしょうか。

ただ、これまでの集落対抗というスタイルは工夫したいです。集落間の人数バランスが悪いのは、誰しもわかっています。



パストラーし団地の参加促進にもなっています。私は、他の集落の方ともチームになるなどとして、もっと交流したいです。

南砺市政出前講座

総務環境部会副会長

佐々木外茂美



地区内総点検住民アンケートで皆様方から要望のありました課題解決に向け、令和元年十月四日高瀬西交流センターにて、なんとセツメル隊野村功ふるさと整備部建設課長を講師に「助成制度」を活用した地域の環境整備をしよう！と題して、枝打ち、各種道路、用排水補修、地域ぐるみ

除排雪促進事業等の助成制度説明及び南砺市行政に対する高瀬西地域要望事項の進捗状況に関する南砺市政出前講座を開催致しました。

南砺市では、注意事項として講座は市政に対しての陳情や要望を行う場ではありません。しかし、常日頃から高瀬西地域づくりに取り組み尽力されている区長さん方が、次々に質問、それに対して適切で丁寧なアドバイス、市政に関する知識と理解を深める有意義な懇談の場となりました。

空き家・水路柵現地確認調査結果について

総務環境部会会長 大西毅彦

さる六月十六日に、総務環境部会と生活安全部会が連携を図り、高瀬西地区内の空き家の実態及び、水路柵を要する危険な水路の現状について、現地確認調査を実施しました。

調査は五月末までに、各集落区長さんからの報告に基づき実施したもので、空き家で三清西二軒(安清)一軒の計四軒で、危険な水路は江田一個所でありました。



一軒目では、建物の老朽化が進み、高さ約三メートルの壊れかけた板塀が、隣接地に倒壊寸前までに傾き、それをトラロープで引っ張

ってある、非常に危険な状況で、建物を管理されている方に撤去のお願いをいたしました。倒壊の危険性のある部分の撤去に数回の交渉を要しました。もう一軒については、非常にきれいに管理されておりました。

また、安清地区の一軒目では、建物も老朽化が進んでおり庭等も荒れて

おりましたが、物置にトラクター等が収納されており、頻繁に出入りした痕跡があつことから、近所の方が物置だけを借りて使用している様子でした。もう一軒については、家族の方が益暮れに帰宅され、敷地内の手入が実施されており、留守中は板塀等で管理されておりました。



また、江田地区から報告のありました勸行寺川と旅川の合流地点では、道幅も狭く軽自動車や軽自動車もやっと走行できる幅員しか無く、加えて急にカーブしている上、高低差もかなりあり非常に危険な個所でした。なお、こ

の個所につきましては、以前より防護柵設置について福野町土改に要望されているようですが、事業化までは地元としても、最低限の安全対策が必要と感じました。

最優秀賞に、今年の花壇

花と緑の頭取 院田豊次郎

農村公園の花壇、今年は春のチューリップ、ヒオウチに続いて、夏花もとても良い出来でした。水やりなど協力し

てくださった皆様のおかげで福野地区のコンクールで、最優秀賞もいただきました。協力本場にありがとうございます。



今年も台風が多発しましたが、花壇にはそれほど大きな影響もなかったため、十月片付けるまでなんとか咲き続けてくれました。昨年に続き、雨の少ない暑い夏でしたので、朝夕一度の水やりをしなければならぬ日もあったり、花殻摘みや切り戻しなど、暑い中の作業もグリーンキーパーの皆様の協力をいただき、二時間を超える日もあったりして大変でした。それでも、花がきれいに咲くのが楽しみです。

花を見てくださった皆さんが、「きれいに咲いていますね」と、声をかけてくださるその声や、また、次の励みになっていきます。高瀬西地区の皆さんが、散歩など公園に多く来て花を観に来ていただけるよう頑張っていきたいと思っております。